



令和4年6月22日

発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

護国延命地蔵尊

54回忌法要

遙か遠隔地からも有志たちが参集

5月11日(水)、鳥根県出雲市久多見町の護国延命地蔵尊において54回忌法要が執り行われた。



鎮魂の想いを込め、読経

朝方は霧雨に包まれる中、一時は天候が心配されたが、法要が始まる頃にはその霧雨はびたりと止み、護国延命地蔵尊は静寂な空気に包まれた。

築城基地から第8航空団司令・大嶋将補、美保基地から第3輸送航空隊副司令・柴崎一佐、遠くは那覇基地から第304飛行隊長・上迫2佐、美保、築城、那覇の各基地及び高尾山分屯基地の隊員らの参列で、自衛隊側からは総勢35名と3年振りにも多くの隊員たちが英霊へ祈りを捧げた。

法要は護持委員会委員長の鳥田富夫氏により進行され、黙とうの後には当時を詳しく知る護持委員会の河村幾喜氏から事故にまつわる経験について克明な話がさされると、参列した隊員らはその内容に大きく傾き、事故がもたらす悲しみや辛さを馳せている様子であった。

続いて第8航空団司令が「この地で殉じられた三柱は昭和44年のこの日、美保基地開庁記念式典の祝賀飛行のため、F-86F戦闘機にて築城基地を飛び立ち、鎗ヶ崎山頂付近に墜落殉職されました。当時、天候が悪い中でありながらも、崇高な使命感をもって、与えられた職務を全うしようとした全身全霊を捧げたものであり、残されたご遺族の皆様のことを考えますと、言葉では言い尽くせない程、悲痛な思いであります。事故から既に53年が経りましたが、時代が幾ら変わろうとも、隊員一同は御霊の遺志を受け継ぎ、二度とこのような悲惨な事故を決して起こすことなく、精強な部隊にするを固く誓います。」(要旨)と追悼の言葉を述べた。

最後に参列者による献花、導師よりお経が上げられ、法要を終える頃には雲間から穏やかな日差しが差し、まるで捧げた祈りが天へと届いたかのような久多見の空模様となった。



久多見の山中、静かに佇む護国延命地蔵尊



献花する柴崎副司令



天翔の碑にて献花

本日の部隊視察において、諸官に望むことは一点、あらゆることに挑戦してもらいたいということである。美保基地は今現在航空自衛隊の最新鋭の装備品を導入している、いわゆる航空自衛隊の最先端をひた走る部隊である。このような時期には常に困難な事項に直面するのが常である。課題に遭遇しても決して引き下がることなく改善、改革、前進という歩みを止めないでほしい。与儀基地司令を核心として一致団結し、どうか諸官たちの能力を信じてどのような困難に当たっても挑戦し続けてもらいたい。きっと素晴らしい成果として美しい花を咲かせることになると思われている。」(要旨)と述べられた。

第三輸送航空隊、美保管制隊、美保気象隊は、5月12日(木)航空支援集団副司令官・川波清明将補の初度視察を受けた。

午前8時20分頃、美保基地へ到着した川波副司令官は、視察に先立ち慰霊碑である「天翔の碑」にて献花を実施した。司令官邸で状況報告を受けた川波副司令官は、続いて基地内巡視を実施。美保ターミナル管制所、美保気象隊、KC燃料系統整備格納庫、KC C-46A空中給油・輸送機、美保管制塔、C-2輸送機、陸上自衛隊美保分屯地を精力的に視察した。

訓示では「今、我が国をめぐり周辺の情勢や国際情勢は風雲急を告げるほど目まぐるしく変化している。軍事の専門家ですら事案の先行きを読めないほど混迷を極めていく。このような中であって制服を着ている我々も深い関心を持って情勢を注視しなければなりません」と述べた。



管制塔でKC施設の説明を受ける川波副司令官



C-2輸送機を詳細に視察

私はずいぶん早いです。と言つても日タストイックに鍛錬に励む本格派ではなく、かなり「ユル」グループに属します。

より速く、より遠くへ走る。それ自体を目的とする場合、いやが上にも自転車の軽量化と空気抵抗の削減が当然の作法となります。一方、道中お土産を買いたい、景色を愛でながらのんびり走るのならば、自転車は便利で安楽な方が良く、重量や空気抵抗の配慮は程々でも構わないという文化が生じます。

目的に最適化されたモノは使いやすい、でなければ使えない。すべて人力に依存し、一日100キロは軽く走るサイクリストにとり、最適化は重要課題。そこで、本格派とユルグループの自転車では、使い方に合わせて部品選択や外観、果てはフレーム形状や素材、チェーンオイルまで差異が生じます。

この差異は、目的と手段の反映ですが、結局のところ、何に充実感を感じ、そのための労力やコストはどこまでが許容できるのかという、乗り手の価値観の問題に帰結します。

もちろん、本格派の人達も、しまなみ海道のような壮大で美しい景観の下で走るのは大好きです。ユルグループも、交通事情から全力走行を要する場面があります。この様に共通基盤はありますが、最適化されたモノは違いますし、経験でしか自分に合う路線もわかりません。もし自転車趣味を始めたら、ママチャリ化が容易で、少しだけ高性能な自転車からが良いのかもしれませんが。(スロー・ポッター)



C-2輸送機をバックに記念撮影

「あらゆることに挑戦」と訓示

視察に先立ち慰霊碑である「天翔の碑」にて献花を実施した。司令官邸で状況報告を受けた川波副司令官は、続いて基地内巡視を実施。美保ターミナル管制所、美保気象隊、KC燃料系統整備格納庫、KC C-46A空中給油・輸送機、美保管制塔、C-2輸送機、陸上自衛隊美保分屯地を精力的に視察した。

訓示では「今、我が国をめぐり周辺の情勢や国際情勢は風雲急を告げるほど目まぐるしく変化している。軍事の専門家ですら事案の先行きを読めないほど混迷を極めていく。このような中であって制服を着ている我々も深い関心を持って情勢を注視しなければなりません」と述べた。

令和4年度・令和5年度防衛モニター委嘱状伝達式

令和4年度基地モニター委嘱状伝達式

令和4年度基地モニター委嘱状を交付

令和4年度防衛モニター委嘱状伝達式

令和4年度基地モニター委嘱状伝達式

令和4年度基地モニター委嘱状を交付

モニター制度は、周辺住民の方々に防衛省自衛隊又は基地に対する意見や要望等を伺い、基地諸施策の改善及び向上に反映させることにも、地域に密着した広報活動の推進を図ることを目的に設置され、防衛モニターの任期は2年、基地モニターの任期は1年となっております。

モニターは次の方々。

令和4年度・令和5年度防衛モニター
福田 勇司 様 米子市
令和4年度基地モニター
(あいさつお願)

井上 くるみ様 松江市
竹内 健治 様 境港市
田中 千香子様 米子市
那須 孝九 様 米子市
福本 一宇 様 米子市
藤原 常義 様 安来市



資料館での委嘱式

美保分屯地でCH-47JAを研修



三ツ井智栄子様 米子市
宮本 尚美 様 松江市
森井 ゆりか様 境港市
渡部 浩 様 松江市

野外行動訓練を実施

8空団隊員と力を合わせ護国延命地蔵尊周辺の環境整備

美保基地の隊員20名らによる野外行動訓練が、5月9日(月)出雲市久多見町山中にて実施された。訓練では護国延命地蔵尊周辺の環境整備も兼ねて道路脇の法面の草刈りと樹木の枝打ちなどを実施し、足場の環境が悪い状況の中でも安全に行動を実施するため、隊員間の相互連携要領を演練した。

環境整備には築城基地から第8航空団の隊員10名も加わり、総勢30名の隊員たちの協同動作によって地蔵尊周辺の生い茂った草木は美しく刈り整えられた。また、護国延命地蔵尊の環境を整えることの意義について、建立に至る経緯と護持委員会の方々の半世紀以上にわたる取り組みを事前に学んでからの訓練に臨んだこと、参加者たちの安全についての思いが深められ、多見の方々の感謝の思いが込められた環境整備へとつながった。訓練の成果は後日に控える。



チーム美保、チーム築城とともに記念撮影



手分けして丁寧に環境整備

た護国延命地蔵尊の54回忌法要に臨むにふさわしい美しく整えられた環境となつて現れ、そして参加隊員たちの団結強化へと結実した。

広報班がブース展開

航空中央音楽隊演奏会にあわせ



安来市総合文化ホール・アルテピアにおいて5月7日(土)「スマイルコンサートin安来」が、米子コンベンションセンターにおいて5月8日(日)「ふれあいコンサートin米子」が航空中央音楽隊による音楽演奏会として実施され、美保基地広報班が「広報ブース」を展開した。

広報ブースは美保基地のほか、地方協力本部と航空自衛隊高尾山分屯基地も隣接して展開し、各ブース間で協力しあつての熱い広報活動が功を奏し、両日も大きな賑わいを見せていた。



好天に恵まれ久しぶりの広報活動に汗を流しました



見送りには駐日ルーマニア大使が駆け付けました



届け!

ウクライナ被災民へ

人道救援物資の輸送任務を実施

自衛隊は現在、国際平和協力業務(PKO)としてウクライナ被災民への人道救援物資の輸送任務を実施しており、美保基地からは5月11日(水)〜16日(月)の間、C-2輸送機によりドバイ(アラブ首長国連邦)からブカレスト(ルーマニア)へ国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の人道物資輸送を実施した。今回の支援は、我が国が国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)を通じて実施するもので、UNHCRがドバイに備蓄している人道救援物資をウクライナ周辺国であるルーマニア及びポーランド共和国へ輸送するもの。

防衛省・自衛隊は引き続き、国際社会と連携しながらウクライナ被災民の方々に寄り添う支援を実施する予定である。



平和協力隊員記章を肩に出発の申告

わたしのお父さん

ゆうき たいせいくん

検査隊 結城 浩太 3曹 長男



中央がたいせいくん、右はわくとくん

パパは飛行場でお仕事をしています。とてもカッコいいです。早く航空祭に行つていろんな飛行機が見たいです。パパはよく釣りに連れて行つてくれます。頑張つて早く起きていっばい釣ります。パパは夜に一人で釣りに行くといつて何も持つてこないときがあります。僕もおおきくなつたらパパよりもいっぱいお魚を釣りたいです。

みなと学ばーDAYで警備犬訓練展示

軽装甲機動車、破壊機救難消防車展示も

境夢みなとターミナル主催の「みなと学ばーDAY」が5月14日(土)、同ターミナル内で開かれ、美保基地は警備犬訓練展示、軽装甲機動車及び破壊機救難消防車展示を実施した。

この催しは、「見て・ふれて、体験して、楽しく防災を知ろう!」をコンセプトに海上エリア、自衛隊・警察エリア、消防エリア、ドクターヘリエリア等に分か

れ、それぞれのエリアで防災について学ぶもの。会場には、海上自衛隊のミサイル艇「はやぶさ」や海上保安庁の巡視船のほか、ドクターヘリ、パトカー、白バイ、起震車等が展示され、訪れた約3500人の来場者は、隊員らの任務や防災等についての説明に熱心な様子で耳を傾けた。

自衛隊エリアにおいて



自衛隊ではたらく車は子供たちに大人気

本イベントに参加した隊員らは、来場者の方々と触れあい、自衛隊及び美保基地を大いにPRすることができた。



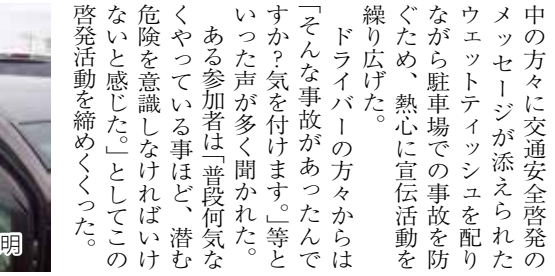
迫真の不審者対処実演に来場者は興味深々

境港警察署と協同で交通安全を呼びかけ 美保基地が宣伝隊に参加

境港市内のスーパーセンター・プラント5の駐車場で、4月27日(水)境港警察署主催の交通安全啓発活動が実施された。

この活動は、境港警察署管内のコンビニエンスストア駐車場で発生した人身事故を受け止めたことによるもの

で、境港警察署交通課、鳥取県交通安全協会、境港市



お店の前でみなさんに交通安全を宣伝

内の自治体関係者と協同で、美保基地からは安全班長、准曹土先任が「交通安全宣伝隊」の一員として参加した。

活動では、駐車場を利用中の方々に交通安全啓発のメッセージが添えられたウェットティッシュを配りながら駐車場で事故を防ぐため、熱心に宣伝活動を繰り返した。

ドライバーの方々からは「そんな事故があったらですか?気が付きます。」等といった声が多く聞かれた。

ある参加者は「普段何気なくやっている事ほど、潜在的な危険を意識しなければいけないと感じた。」としてこの啓発活動を締めくくった。

故事成語

No.248 人間 到る処 青山有り

骨を埋める場所はどこにもあるのだから、大望のために広い世界で活躍すべきである。

男子が志を立てて 故郷を出る。

男児 志を立てて 郷里を出ず。

もし学問が成就しないなら、死んでも帰らない。

骨を埋める場所は 故郷の墓地だけではない。

世の中、いたるところに 骨を埋める場所がある。

職場紹介 整備補給群検査隊 第1小隊

C-2の飛行安全サポート集団

「だいせん」をご覧のみなさんこんにちは。今回紹介するのは整備補給群検査隊第1小隊(以下「1小隊」という)です。1小隊は小隊長以下数十名で編成されており、日々の業務に取り組みしています。私たち検査隊は他の職種のように何かを専門とした職種ではありませんが、強いて言えば航空機「C-2」の整備全般に特化した職種です。例えば、整備作業に関して言えばどのような故障であっても、我々が1番に現場へ向かい故障探索に取り組みます。そこから故障内容によって、専門職の方と連携をとり作業を実施します。整備作業以外にも飛行前後に携わっており飛行前後の点検を行ったり、時には飛んでいくC-2に同乗し、他基地や他国等の目的地で整備

作業や飛行支援を行ったりします。つまり、我々が飛行前の点検で大きな見落としがあり、そのまま飛行を実施した場合、故障や事故の原因になってしまうかもしれないという責任重大な職種なのです。

このように、我々1小隊は人の命を預かっている自覚を持ち、高い志と熟練された知識、洗練された技術力をもって業務に専念しています。

最後になりますが、我々はこれからも人々の生活や安全を守るため、誠心誠意飛行機と向き合い、整備作業等頑張っていきたいと思います。何卒!整備補給群検査隊第1小隊をよろしくお祈りいたします。

PS. 彼女なしです。お願いします。

栗原士長



ドライバーさんに駐車中に潜む危険を説明



心を一つに、安心安全な運航を支える事が我らの誇り

レジャースポット 美らビーチ豊崎

豊崎海浜公園

突然ですが皆さんは沖繩県に行ったことがありますか?

沖繩と言えば透き通る美しい海、シーサー、シーサー、首里城など様々なものをイメージすると思います。今回沖繩出身の私が紹介するのは、沖繩らしさ満載のスポット。豊崎海浜公園について紹介したいと思います。

豊崎海浜公園は全長700メートル、那覇空港から車で約15分の距離にある海沿いの公園です。ここでは海水浴はもちろん、隣接した施設で、バーベキューも楽しむことができます。夏になると地元の人や多くの観光客で熱気にあふれます。

また、海沿いから少し離れたところにはサイクリングロードや、バスケットコート、ビーチサッカーなどができる施設があり、海

水浴以外のスポットも楽しむ事が出来ます。

その他にも施設内にあるカフェレストランでは沖繩の海を見ながらの食事ができ、近くにあるライブ会場では話題のミュージシャンMAXXや、DA PUMPなどの有名アーティストがライブを開催したり、祭りの会場としてもよく使われています。

加えて夕方になると、水平線に沈む夕日で空がわずかに橙色に染まる光景は、他の海では滅多に見られない絶景です。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今後まだまだ旅行しづらい状況ですが、情勢が落ち着き、気軽に旅行できるようになった際には、是非とも豊崎海浜公園に足を運んでみていただきたいと思っております。

美保気象隊 岩田 朋和



宝石のような輝きを放つ海、ステキですね

Ezawa 写真館



1機を飛ばすための「絆」

食事を提供し、施設を整備し、飛行場が機能するために働いた日々があった。この1機を飛ばすための整備にかけた時間があった。そして今、飛び立つために計画し、調整したことがある。彼の地で待つ誰かのもとへ行ってらっしゃい。行ってきます。その絆が、美保基地の、各基地の、日本の想いを世界へ繋いでいく。

皆さん、こんにちは。美保基地業務隊厚生班の河村士長です。本日は、私の生まれた地である山口県を紹介したいと思います。山口県は、本州南西部に位置し、中国地方に属します。県庁所在地は同名の山

ふるさとバンガイ

一度はおいでよ、山口県

～山口県～

基地業務群業務隊 河村士長

口市で、その歴史は14世紀に遡ります。当時の大名が京都を模した町作りを行ったことから「西の京」と呼ばれています。また、山口市は豊富な緑や清らかな水を有する自然に満ちた都市となっています。山口県と聞いて多くの方が思い浮かべるのは、間違いなく「角島大橋」、「錦帯橋」、「食べ物なら「ぶぐ」、「外郎」だと思います。その他のイメージは教育隊で入校した防府南基地のことも思い浮かべるでしょうか？熊谷基地の方もいるかもしれません。また、パイロットを養成するための防府北基地もあります。ですが、山口県には国定公園及び特別天然記念物に指定された日本最大級のカルスト台地秋吉台やその地下100メートルには、日本屈指の大鍾乳洞秋芳洞があります。地下100メートルにあるにも関わらず温

度は四季を通して17℃で一定し夏は涼しく、冬は温かく、快適に観光することができます。ほかにも山口県と福岡県を結ぶ全長3,400メートルの関門トンネルがあります。地下60メートルまでエレベーターで降りることで海の下の、海底トンネルを歩くことができます。また、山口県は食文化も盛んです。私のお勧めは瓦そばです。熱した瓦の上に茶そばと具をのせて温かいめんつゆ



角島大橋は一度は行ってみたい橋と言われるほどの美しい景色が自慢

で紹介したものの以外にもいい所がたくさんありますのでぜひ一度山口に遊びに来て下さい。

♡ 家庭訪問 ♡

飛行群第403飛行隊
志治 政之 3佐宅の巻
「家族と過ごすマイホーム」

自宅の購入を考えている方はいらっしゃいませんか？ 今回の家庭訪問は、昨年、境港市に建てた私の自宅を紹介します。皆さん、境港市の土地の値段を知っていますか？ 実は平均して坪単価約7万円なんです。私は●●(内緒)坪の土地を購入しましたが、小牧や入間で同じ予算だと約25坪となり、家と駐車場しか作れない広さとなります。この広い土地を購入できたおかげで、庭付きマイホームができましたか？

最後に、自宅を購入する決心をしたのは「子供と一緒に生活できるのもあと数年ですよ。」のセールの声からの一言でした。市街地でも手頃に庭付きマイホームのオーナーになれる境港市で、残り少ない子供との時間を快適に過ごしてはいかがでしょうか？

ムのおーナーとなり花木の好きな妻と毎週、庭の手入れや家庭菜園に気持ちのいい汗を流すとともに、妻との会話も増え、とても充実した時間を過ごしています。家についても広い土地のメリットを生かし、自由に走り回れるように20畳オーバールのリビングを作ったことで、子供たちは毎日が運動会です。官舎の時に気を使っていた足音の心配もなくなり自由に遊んでいる子供を見ると、本当に購入して良かったと実感しています。また、この周辺は日本の古き良き伝統が受け継がれており、ご近所さんから新鮮な野菜や魚を頂くなど、心温かい人ばかりで恵まれています。



緑豊かな庭、大きな家、広がる大空、境港の醍醐味ですわ

恒仁(ひが)つねひと、沖縄県出身の24歳で、大学では2等航空整備士免許を3年かけて取得し、卒業研究はラムロケットエンジンに流れる空気流の解析について論文発表しました。その他にも、ヒッチハイクや富士登山、ロードバイクでの沖縄本島1周、西日本豪雨の災害ボランティアに参加するなど、とても活動的。目標は皆生トライアスロンに出場し完走すること、将来は、世界各国にいる友人と鉄人レースに出場し、一緒に完走することだそうです。なお、一緒に体力錬成をする人を募集中心のこと。

2人目は、1等空士 川越皓太(かわごへ)こうた、鹿児島県出身の19歳

基地新聞「だいでん」をご覧の皆様、こんにちは。今回は基地業務群施設隊に配属された3名のホープを紹介したいと思います。1人目は、空士長 比嘉恒仁(ひが)つねひと、沖縄県出身の24歳で、大学では2等航空整備士免許を3年かけて取得し、卒業研究はラムロケットエンジンに流れる空気流の解析について論文発表しました。その他にも、ヒッチハイクや富士登山、ロードバイクでの沖縄本島1周、西日本豪雨の災害ボランティアに参加するなど、とても活動的。目標は皆生トライアスロンに出場し完走すること、将来は、世界各国にいる友人と鉄人レースに出場し、一緒に完走することだそうです。なお、一緒に体力錬成をする人を募集中心のこと。

3人目は、1等空士 松山正龍(まつやま)しょうりゅう、佐賀県出身の19歳で、高校では山岳部に所属し、趣味は登山。北アルプスの常念岳(2,857m)と屋久島の宮之浦岳(1,936m)に登頂した経験もあり、その際はグループリーダーも務めました。小学校と中学校はバスケットボール部で、現在も先輩や同期隊員と体育館で活動しています。サイクリ

ホー7登場
南国出身の電気班3人組
美保基地に笑顔と明るい電気(元気)をお届けします
基地業務群施設隊

比嘉 恒仁 空士長
川越 皓太 1等空士
松山 正龍 1等空士

で、趣味は古着屋巡り。最近ではフィルムカメラにも興味があり、購入を計画しているほか、私有車を購入し、鳥取の観光スポット巡りも計画中です。高校ではeスポーツ部に所属し、鹿児島県の代表として茨城国体にも出場しました。



スイカ

今年の大栄西瓜は平均糖度が中心部で12.3度と例年のない甘さと玉太りで絶品だそうですよ！ 美味しい西瓜でLet's夏バテ予防っ！！



住所 鳥取県米子市

6月4日付
第3輸送航空隊
武田 洪福 准尉



住所 島根県松江市

6月4日付
第3輸送航空隊
石橋 茂 准尉

第2の人生
お元気で
6月定年退官者

ングにも興味があり、クロスバイクの購入を計画しています。3人は今年4月に初級電気員課程を修了したばかりですが、電気員として及び各種資格取得に向けた勉強、体力錬成ととても前向きに活動しており、職場の雰囲気も明るくする大きな存在となっています。今後の活躍にご期待ください。